

例えば「シラバス」です。これは授業の予定や成績のつけ方などが書いてある「先生と学生の契約書」のようなものですが、アメリカではこれを最初の授業の時に学生に **1.渡** _____。契約書ですから、先生はシラバスに書いてあるとおりに授業をしなければなりません。中には学生にサインを **2.** _____ 先生もいます。このような習慣はもちろん日本にはありません。

授業のやり方も日本とはまったく違います。日本では学生がだまって先生の講義を **3.聞** _____ というのが一般的ですが、アメリカでは先生は学生にどんどん意見を **4.言** _____。「授業」というより先生と学生のディスカッションのようです。それに「宿題」です。私には「宿題は小学生や中学生に **5.や** _____ もの」というイメージがあったので、日本の大学で教えている時は、ほとんど宿題を出しませんでした。しかし、アメリカでは先生は毎週学生にたくさんの論文を **6.読** _____、レポートを **7.書** _____。ある人によると、アメリカでは「宿題をたくさん出す先生は熱心な先生で、あまり宿題を出さない先生は手を抜いている先生」というイメージがあるそうです。私も今毎週学生にレポートを **8.出** _____ が、日本の大学で同じことをしたら、**きっと**学生に嫌われるでしょう。

さて、日本の大学とアメリカの大学で一番違うのは評価に対する考え方でしょう。日本では評価は先生がするものですが、アメリカでは学生にも授業の評価を **9.** _____ のです。しかも、その評価はかなり厳しいのです。どうやらアメリカでは先生と学生は対等の関係と**考えられている**ようです。私も学期の終わりに授業の感想を **10.書** _____ が、学生たちは本当にはっきり意見を **11.書** _____ ので、ときどきとてもびっくりさせられます。最近やっと少し慣れて**きましたが**。

2. 日本の教育制度とあなたの国の教育制度はどう違いますか。また、カリキュラムや先生の教え方はどうですか。この課で学習した表現を使って、作文にまとめてみましょう。